

ぼくの名前は飛騨の匠の匠に生きると書いてたくみといいます。

この漢字とこの名前になったのか母に聞いたことがある。

「おじいちゃんが二人とも大工さんだったからよ。」

と答えた。母は美容院を経営している。

飛騨の匠という言葉があるという事を父が教えてくれた。父はトラックの運転手でほとんど家にいない。

飛騨の匠という本を読んだ。奈良時代、年貢を納めなければいけなかった時代に飛騨には山が多く、木材と大工仕事を年貢の代わりに百年間都に献上した事が書かれてあった。飛騨の人の木工技術がすばらしく、のちに飛騨の大工さんは腕がいいと語り継がれているらしい。匠という漢字には、長く続けているその道のプロという意味で、辞典には職人・先生と書いてあった。

そして、匠の下に生きるという字もついて友達にも何で二文字なのかと聞かれたので、そのことも両親に聞くと

「なまものですからー。」と父は言っていた。

「へきるなよって意味よ。」と母は笑った。二人は時々おかしな事を言う。妹もいるけど休日もバラバラでみんなで過ごす家族ではないけどなかなかおもしろい。

僕の将来になりたい夢は決められない。

祖母も看護師と、旅館に五十年つとめていて僕の家族は、全員、匠だらけな事を知った。

「将来、大工になったらいいのかなあ。」

と母に聞くと

「何でもいいんじゃない。楽しくできる仕事が見つかるといいね。」

とまた笑った。

楽しく、長く続ける仕事が見つけれられるかわからないけど、匠生という名前をつけた理由で少し将来を考えてみようと思うようになりました。